

Concept



株式会社 ゼンショーホールディングス
ZENSHO HOLDINGS CO., LTD.
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
TEL 03-6833-1600 URL <https://www.zensho.co.jp>

ZÉNSHO

20230915-FL

ZÉNSHO



世界中の人々に、安全でおいしい食を手軽な価格で提供するために。

私たちゼンショーグループは、「食のインフラ」を担う企業として、「牛丼」、「レストラン」、「ファストフード」といった事業カテゴリで、バラエティに富んだ「食」を提供しています。安全でおいしい「食」を提供するためには、店舗の運営だけではなく、食材の調達、製造、物流などの「食」に関するすべてのプロセスについて、責任をもって関与することが必要であると考え、一貫した独自のビジネスモデルを創造し、企画・設計、運営し、変革し続けています。これからもゼンショーグループは、世界中のより多くの人々に、安全でおいしい「食」を提供していきます。



日本からフード業で 世界一を目指す。

1982年に創業したゼンショーは、約40年間でグループ全体として10,283店舗、売上高7,799億円の規模に成長しました。

1999年に東証二部上場を果たし、2000年からの20年間で売上高を36倍に伸ばし、

ゼンショーグループは日本の外食企業でNo.1の地位を確立しています。

この外食日本一という規模は「世界から飢餓と貧困を撲滅する」

という私たちの経営理念の実現において一つの通過点であり、さらなる飛躍のための大きな礎です。

私たちの取り組みはこれからが本番です。

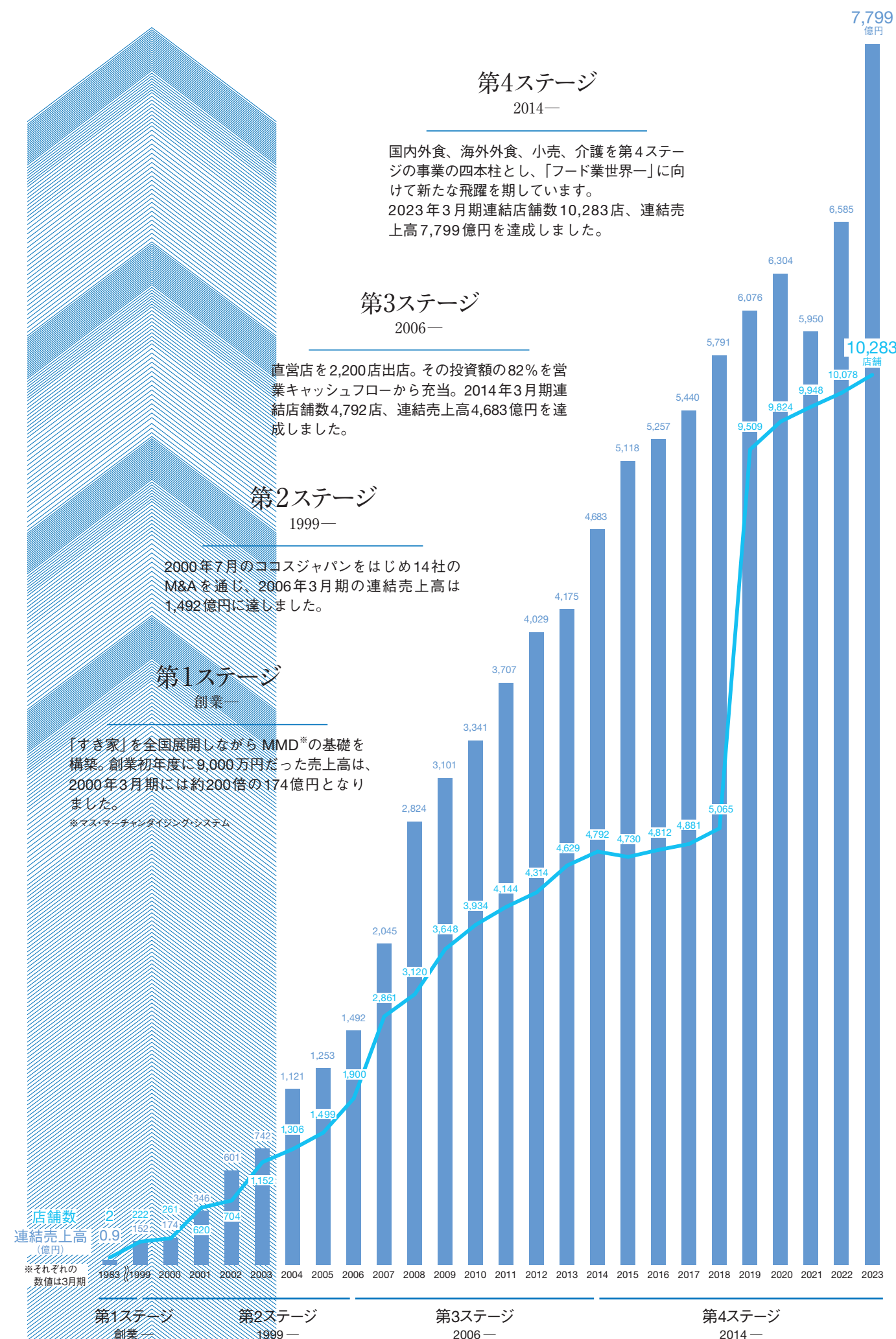
ZENSHO SUMMARY (2023年3月期)

連結売上高 …… 7,799 億円

連結営業利益 …… 217 億円

店舗数 …… 10,283 店舗

新規出店数 …… 444 店舗



人類社会の安定と 世界から飢餓と貧困

「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という創業以来の理念の実現に向け、一歩前へ。

矛盾や対立が各地で露見し、世界が不安定さを増すなか、

「食」の安定という人類がこれまでなし得なかった目標に向け、

ゼンショーグループはMMD（マス・マーチャンダイジング・システム）で世界をつなぎ、次なるステージへと進む。

発展に責任をおい、 を撲滅する。

「飢餓と貧困の撲滅」に 責任をもって取り組むために

世界から飢餓と貧困を撲滅することを理念に掲げ、ゼンショーは1982年、資本金500万円で創業しました。41年の時を経た現在、売上高7,799億円（2023年3月期）、店舗数では10,283店（世界計）という規模に成長し、国内外食企業としては売上 No.1、世界の外食企業ではトップ10に入っています。

創業から掲げてきた「フード業世界一」をより具体的に考える段階に入り、2023年、ゼンショーは企業理念を進化させました。「食を通じて、人類社会の安定と発展に責任をおう」。この理念を単なる謳い文句として掲げるのではなく、実現に向けて具体的に進めてまいります。

理念の進化に至ったのには二つの大きな要因があります。

一つは規模感。「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という目標を実現するためには、それを実現するにふさわしい規模と体制が必要です。ゼンショーは、グループとしての規模とそれに見合った強靱さを着実に身につけてきました。ゼンショーの成長性や社会への影響力について、今や広く社会からも信頼いただける域に達しつつあると実感しております。

二つ目は、世界が不安定さを増していることに対し、私としても、また会社としても、より強い危機感を抱いたということです。世界各地で噴出する部族間・民族間の対立や人権にまつわる諸問題に加え、昨今では世界的なパンデミックの発生が人類社会に大きなダメージを与えました。人類はもはや後戻りできないところまで来ています。

この事態を我々はただ外から眺めているのではなく、自らの「責任」として諸問題に取り組み、社会の「安定」を

実現していかななくてはならないと考えています。世界中のすべての人々が安定的に「食」を手に入れ、持続可能な調和的発展を続けることのできる社会をつくる。私たちの新たな理念には「安定」と「発展」という二つの言葉を刻んでいますが、この「安定」を実現するだけでも大変なことです。

これを単なる目標として掲げるのではなく、責任をもって着実に実行していくために、私たちはさらなる成長と拡大を成し遂げていく必要があります。企業理念の進化は、ゼンショーとして次なるステップへと進むための決意表明でもあります。

食の安定供給のために MMDのさらなる進化を

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世界経済は大きな制約を受けました。しかしこの期間においても、ゼンショーグループは技術革新・デジタルトランスフォーメーションに積極的に取り組み、販売チャネルの拡大、店舗水準の向上や商品開発に力を注ぎ、社会の変化に対して柔軟かつ機敏に対応してきました。店舗に関しても世界中でたゆまず規模を拡大しています。

世の中が厳しい状況にあるなか、「なぜ、ゼンショーはこれほどまでに成長を続けられるのか」と多くの方に聞かれます。それは、「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という創業以来のビジョンを決して曲げなかったからにほかなりません。そして何より、この理念を共有し、「人類史にエポックをつくらう」と本気になって取り組んでいるメンバーが多数集まってくれたことがその大きな要因です。



ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長

小川 賢太郎
Ogawa Kentaro



国連の統計によれば、世界では7億3,400万人が飢餓の状態にあるとされています。この背景にあるのは「食料の偏在」です。食料生産自体は世界人口の80億人を十分に養えるだけの量があるにもかかわらず、それらはどうしても高く売れる先進国に集中してしまう。それが発展途上国の食料不足・飢餓に大きく影響しています。

飢餓や貧困は「戦争」を引き起こす要因でもあります。十分な食事ができない経済状況では、兵士となって戦争に関わる人々が多く発生してしまうのです。これほど文明が発達した現代にあっても、争いは減るどころか、今なお世界中で繰り返されています。食を安定して供給できる仕組みをつくるということは、我々が思う以上に大きな意味があるのです。

世界から飢餓と貧困を撲滅するためには、まず食の「ムダ、ムラ、ムリ」を徹底的になくし、あらゆる状況において食料の供給を絶やすことのない、持続可能な仕組みづくりが必要です。ゼンショーは今その仕組みづくりを着実に進めています。

それらは困難な目標です。しかし課題を一つひとつ乗り越えていく過程で、個々のメンバーの能力が鍛えられ、企業体としても一定の規模を擁しながら、組織のあり方を会社の発展段階に合わせて柔軟かつダイナミックに変化させてきました。こうして培われた個々のメンバーの能力と組織の柔軟性こそがゼンショーの財産であり、我々がフード業世界一の達成を確信できる大きな理由なのです。

ゼンショーは原材料の調達から製造・加工、物流、販売まで、すべてを自社で企画・設計する、独自の「MMD（マス・マーチャンダイジング・システム）」を構築しています。このゼンショー MMDは我々の経営理念を日々の具体的なオペレーションに落とし込んだも

のであり、経営の根幹を担っています。「ムダ、ムラ、ムリ」を徹底的に排除し、お客様に安全・安心な食を、より手軽な価格で提供するためには、自ら汗をかいオペレーションを行わなければならないのです。

さらに、昨今の不安定な世界情勢のなかで私たちが学んだことは、不測の事態が起きた時でも「食」を安定供給できる、さらに強固で広範囲な MMD を構築する必要があるということです。より複雑化する世界の状況にあわせ、ゼンショー MMD をさらに進化させていくことで、食を通じた世界の「安定」と「発展」を実現していきたいと考えています。その意味からいえば、私たちの活動はまだまだ発展途上にすぎないのです。

自らの文化を知り、異文化を尊重する精神の育成

2023年3月現在、ゼンショーは全世界に10,283店舗を展開しています。すでに過半数が海外の店舗です。

200の国や地域にゼンショーの MMD を拡大し、安全でおいしい食を世界中の人々が手軽に食べられるようにする。その活動を通じて世界から飢餓と貧困を撲滅し、人類社会に「安定」と「発展」をもたらしていく。これがゼンショーのグローバル展開における使命であり、責任です。

現在の不安定な世界状況には、異なる価値観を受け入れられない、理解しあえないという精神的な阻害要因も大きく影響しています。ゼンショーはグローバルな MMD の構築を通して「食」の安定供給を目指すと同時に、さまざまな文化を受け入れ尊重する精神を育てていくことが重要だと考えています。

異文化を知る前に、まず自分たちの精神的な DNA となっている「文化」を深く知らなければなりません。そこでゼンショーは2023年、日本文化研修センターを京都に設立し、「日本文化に触れる研修」を開始しました。この研修では、茶道や華道などの第一人者の方々を講師に招き、日本のメンバーには日本人として日本文化の理解を深めること、そして海外のメンバーにも可能な限り本物の日本文化に触れてもらうことを目的としています。

この活動は、日本の文化が他国の文化に比べて優れていると理解するためのものではありません。異文化理解の第一歩として、日本で生まれ、日本に本社を置く企業として、まずその根底にある日本の文化をもっと深く知るべきだということです。将来的には、世界各国に文化研修センターを設け、その国の文化をお互いに学びあえる仕組みへの発展も視野に入れています。

人種、宗教、民族文化が生み出すさまざまな対立を乗り越え、お互いを尊重し、人類全体が平和的に共生できる「食のインフラ」を構築する。企業としての成長を通じて、強い信念を持った人財を多数輩出し、同じ理



華道の研修を受けるゼンショー社員

念を共有する人々のチームをつくることで、物理的、精神的の両側面から、人類社会の「安定」と「発展」を実現していく。壮大な目標に映るかもしれませんが、やれば必ず実現できると私は確信しております。

安全・安心な食への未来に向けた研究活動

安全・安心な食を提供するためには、食材のリスクにも万全の注意が求められます。ゼンショーは食の安全を経営の最重要課題として取り組み、BSE（牛海綿状脳症）問題への対応をきっかけに2005年、食品安全追求室（現・グループ食品安全保証本部）を設立しました。2006年には独自の検査・分析機関である中央分析センターを設立し、業界最高水準の分析装置と人財で、残留農薬、重金属、放射線などのチェックを行っています。

さらに長期的視野に立った取り組みとして、直営牧場である「善祥園」（北海道広尾郡大樹町）の運営を行っています。この牧場をゼンショーにおけるパイロットファームとして位置づけ、牛の飼料の与え方や育て方の研究を行っています。また、ゼンショー中央技術研究所ではイネをはじめとした農産物や水産物について、食材の適切な生産や品質向上のための研究を行っています。

また、発展途上国の生産者を支援するため、2007年からフェアトレードにも取り組んできました。フェアトレードとは途上国の製品を適正な価格で継続的に購入することを通じて、立場の弱い生産者・労働者の生活改善と自立を目指す取引です。ゼンショーのフェアトレードは社会開発資金と呼ばれる上乗せ価格を付加した適正価格でコーヒー豆や紅茶などの農産物を購入し、その上乗せ分を現地の人々の生活環境の改善に活用しています。たとえばタンザニアでは母子健康プログラムの運営に、ルワンダでは水道施設や小学校の家庭科教室の建設になど、各国で社会開発資金が役立てられています。いまこの活動は20カ国に広がっています。

ゼンショーはいずれこうした途上国にも独自の MMD

を構築し、誰もが安全な食を手軽に得られる「食のインフラ」を整備します。途上国での農畜産業の育成は水資源の確保など難題が山積していますが、知恵を絞り、汗を流せば必ず解決策はあります。それぞれの国で風土に適した作物をつくり、農畜産物のベストプラクティスを世界中で組織し、世界中に食のインフラを構築することで、雇用が生まれ、労働による付加価値によって暮らしが豊かになっていくでしょう。

その取り組みは、世界から飢餓と貧困を撲滅しようとする我々のビジョンの実現につながっているのです。

3度目の「30倍成長」実現へ

ゼンショーは1982年の創業以来、成長ステージを「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」と位置づけています。

本格的なチェーン展開を開始した1986年を起点とする「ホップ」の段階では、2000年までの14年間で売上高が30倍に成長しました。2000年から2015年までの15年間、つまり「ステップ」の段階においても、同様に30倍の成長を達成しています。現在は「ジャンプ」の段階にあり、2015年度の売上高5,118億円からさらに30倍の成長を目指しています。

現在の世界人口は80億人ですから、これらの人々に食を届けるには年間約9兆食の食事が必要です。3度目の30倍成長を成し遂げ、世界中のすべての人々に食を提供するプロセスを運営できる、傑出した企業になりたいと考えています。世界の200の国と地域にゼンショー MMD を構築し、人々が安全でおいしい食を手軽に食べられる社会を実現する。これが、ゼンショーの使命です。

「人類社会の安定と発展に責任をおう」企業として、ゼンショーはさらなる成長を遂げ、ここで働くすべてのメンバーに生きがいをもたらし、さらに株主の皆様、取引先の皆様に我々の理念と活動に共感いただける企業であり続けたいと思っています。



生産者と話すゼンショー社員（ベルー、コーヒー産地にて）

ゼンショーはMMDで 世界をつなぐ。

「世界中の人々に安全でおいしい食を手軽な価格で提供する」。この使命を果たすための仕組みが、原材料の調達から製造・加工、物流、店舗における販売までを一貫して自らの手で企画・設計、運営する「MMD(マス・マーチャндаイジング・システム)」です。このMMDにより、安全で高品質な原材料を安定的に適正な価格で調達できます。食材をグループ全体で調達することで中間工程のムダをなくし、おいしい「食」を手軽な価格でお客様へ提供することができます。このMMDがゼンショーの経営の根幹であり、躍進の原動力です。国内で築いたMMDを今後は「人類の食を支えるインフラ」として全世界に展開します。

世界の食材

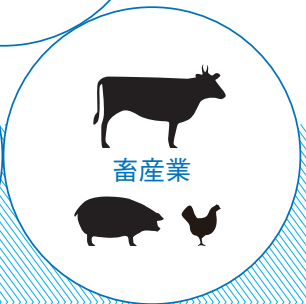


農業

(株)善祥園
(有)水下ファーム
(株)マリックス
(株)五十嵐水産



水産業



畜産業

Procurement

調達

グローバル発展商事^{※1}
Zensho USA Corporation
日本発展商事^{※2}
(株)日本アグリネットワーク
(株)ゼンショーライス

安全で品質の良い食材を世界中から探して調達ルートを開拓し、安定供給の体制を築きあげています。また実際に生産地を訪れ、自らの目で確認しながら、技術協力や設備投資も含めてトレーサビリティを確立しています。



Manufacturing

製造

(株)GFF (株)サンビシ
(株)TRファクトリー

国内33カ所のグループ自社工場で製造・加工した安全で新鮮な食材を安定供給。生産計画を立案し、日々の販売予測に基づいて、必要な量を必要ときに製造。在庫のムダを省き、いつでも新鮮な食をお客様にお届けしています。



Logistics

物流

(株)グローバルフレッシュサプライ

国内各地にある26カ所の物流センターから、24時間365日、安全で新鮮な食を店舗に配送しています。各店舗の適正量を最適な温度帯で配送。品質や鮮度の管理を徹底しています。



小売



介護



Food Service

フード業

MMDの最終段階である各店舗では、安全でおいしい食をお客様に提供します。ゼンショーグループでは、自ら設計を手がけ、内装や外装、井などの食器、備品、什器に至るまでこだわりぬき、真心のこもったサービスで楽しい時間を提供します。



外食(国内・海外)



サポートカンパニー

(株)ゼンショー商事
輸出入関連業務

(株)テクノ建設
店舗設計・施工管理

(株)グローバルITサービス
ITサービス

(株)グローバルテーブルサプライ
備品・什器

(株)トロナジャパン
食品販売

(株)ゼンショーベストクルー
採用支援

(株)ゼンショービジネスサービス
人財開発・支援

(株)ゼンショー・クーカ
ポイント事業運営

(株)かがやき保育園
企業主導型保育所運営

(株)ゼンショー・インシュアランス・サービス
損害保険代理店業務

※1 グローバル発展商事: 中国、ベトナム、チリ、オランダ、オーストラリアに拠点を置き、各地域の食材の開拓を行う会社。
※2 日本発展商事: 北海道、青森、福岡、沖縄に拠点を置き、各地域の特産品の開拓を行う会社。

独自基準・安全を徹底。

グループ食品安全保証本部

ゼンショーは「食の安全」を経営の最優先課題として捉えており、2005年に「食品安全追求室（現・グループ食品安全保証本部）」を設置。さらに翌2006年には、外食企業では他に類を見ない最先端の分析装置を備えた「中央分析センター」を設立しました。この中央分析センターで行う検査・分析は、農畜水産物の残留農薬検査、動物用医薬品検査、重金属などの有害物質検査、遺伝子組み換え食品検査、放射線検査など多岐にわたります。国内、海外問わず、新規に食材の調達を検討する際には、

農場や製造工場が、ゼンショーグループの定める食品安全基準を満たしているかどうかの確認を行います。さらに現地に直接社員が赴き調査を実施し、独自の安全基準で残留農薬などの検査を行うほか、現地の土壌や水質などについても分析を行い、安全性を担保しています。また、ゼンショーではグループ店舗で使用する国産農水産物について、放射線量の自社検査を継続して実施し、独自の目で安全性を確認しています。

Japan



食の安全を科学的に管理。

ゼンショー SFC ～安全飼料牛～

BSE（牛海綿状脳症）や残留農薬、放射線の問題など、私たちの身の回りでは食の安全をおびやかす出来事がしばしば起こります。ゼンショーでは、おいしい「食」をお客様にいつでも安心して召し上がっていただくため、厳しい基準を定め食の安全の確保に努めています。たとえば米国産牛肉。ゼンショーではBSEの心配のない牛肉を調達するため、ゼンショーSFC（Safe-Feed Cattle＝安全飼料牛）という独自の管理プログラムを導入しています。これは牛の出

生時期・場所が明確で、BSE感染の原因となる飼料が一切与えられていない健康な牛をSFCと認定するもの。取引先の農場や加工工場で当社向けに生産されている牛の出生農場から出荷までの生産履歴を把握できるようになったことから実現したシステムです。実際に認定を行う際にはゼンショーの社員が直接現地に赴き、農場や加工工場の検査体制、危険部位の除去など法令遵守の状況をしっかり確認し、安全が保証された牛肉だけがゼンショーの工場に届く仕組みを構築しています。

ゼンショーの独自管理プログラム

繁殖牧場	肥育農場	加工工場	輸送	ゼンショー工場
✓育成状況や飼料の記録 ✓子牛の生産記録	✓子牛受け入れ - 出生記録／安全飼料の証明書 ✓耳標（イヤータグ） ✓穀物中心の配合飼料 - 牛専用飼料工場／配合内容／与えた飼料の履歴／検査（肉骨粉などの牛蛋白の有無を検査）	✓月齢確認 ✓牛の健康確認 ✓特定危険部位の除去 ✓HACCPによる衛生、温度管理 ✓有害菌検査	✓輸送温度	✓衛生管理・温度管理 ✓有害菌検査



ゼンショーの世界展開

中国において460店舗の「すき家」を運営しています。これまで上海を中心に outlet していましたが、2012年より天津、北京などにも outlet し、中国での展開を本格化。ゼンショーグループの世界展開の軸として、食の安全、安心、おいしさ、スピード、サービスにおいて日本以上のレベルを目指します。



China
中国



Thailand
タイ

マレーシアの国民の過半数はイスラム教徒です。イスラムの戒律に則ってつくられたことを認証する「ハラール」という制度があり、マレーシア「すき家」は世界初・唯一のハラール認証牛丼を提供するため、醤油などの調味料の調達や牛肉の加工を工夫し、2014年11月にハラール認証を取得しました。



Malaysia
マレーシア



Brazil
ブラジル

ブラジル最大の都市、サンパウロを中心に26店舗の「すき家」を展開しています。200万人を超える日系ブラジル人の方々を中心に、広く現地で受け入れられています。日本食を手軽に楽しんでもいただくために、気軽に足を運べるお店づくりを目指しています。



USA
米国

2018年に Advanced Fresh Concepts Corp. (AFC) が仲間入りしました。AFCは、アメリカ、カナダ、オーストラリアの主にスーパーマーケットなどの一角で営業する形態のテイクアウト寿司店を4,600店舗以上展開しています。

日本の国民食を、世界の日常食に。

——— 世界に広がる「ゼンショー」

ゼンショーグループは牛丼チェーン「すき家」のグローバル展開を進めており、2023年3月末現在、中国、ブラジル、タイ、マレーシア、メキシコ、台湾、インドネシア、ベトナム、香港、シンガポール、フィリピンに合計672店舗を出店しています。日本人にとって欠かすことのできない国民食となった「牛丼」は、国内だけに留まらず、海外の人々にも愛される食べ物へと飛躍を遂げています。

また、2018年にアメリカ、カナダ、オーストラリアにテイクアウト寿司を4,600店舗以上

展開している Advanced Fresh Concepts Corp. (AFC) が仲間入りしました。

「すき家」の outlet や「AFC」の仲間入りをきっかけに、日々の業務で磨き上げてきたMMDを海外に展開し、そこで安全で効率的な食のインフラを育てていく。これによって世界中の人々の生活を豊かにすることが私たちの使命です。世界中、至るところにくまなくMMDの網の目を張り巡らせたとき、「世界から飢餓と貧困を撲滅する」というゼンショーのビジョンが実現します。

※店舗数は2023年3月末現在



Tanzania
タンザニア

2009年2月からコーヒーの取引を始めたタンザニアでは、社会開発資金[※]で、出産に臨む母親の母体の保護や新生児・乳幼児の健康指導を行う「母子健康プログラム」の衛生指導員の育成を行っています。



Nepal
ネパール

2015年に発生した大地震の緊急復興支援をきっかけに、働き手の流出などの社会問題を抱えるネパールで紅茶のフェアトレードを開始。経済的な理由から通学を諦める子どもが多い山間部で奨学金制度を導入し、3年間で累計351名に奨学金を贈呈しました。

Rwanda
ルワンダ



2011年4月からコーヒーの取引を開始したルワンダでは社会開発資金で共同水道施設を建設。子どもたちは毎日1時間以上かけていた水汲みから解放されました。また、生産者の地区の小学校に、家庭科教室(2017年5月)と学級文庫(2019年7月)を設置しました。

フェアトレード 取り組み国

ケニア
ウガンダ
ルワンダ
ブルンジ
タンザニア
マラウイ
コンゴ民主共和国
南アフリカ
インド
スリランカ
ネパール
東ティモール
メキシコ
キューバ
ホンジュラス
ニカラグア
コスタリカ
エクアドル
ペルー
ボリビア



Bolivia
ボリビア

2019年7月から先住民の血を引く生産者とコーヒーの取引を開始。社会開発資金を活用し、アンデス山脈の急峻な山肌に点在する家々に煙突付きかまどを設置していくことで、女性の家事労働と煤煙被害を減らし、産地の絆を強めていきます。

フェアトレードで、世界の持続可能な発展を。

——— ゼンショーフェアトレード

ゼンショーグループでは、フェアトレードによって輸入したコーヒーや紅茶を店舗で提供・販売しています。一般にフェアトレードの商品は最終の販売価格が高くなりがちで、消費者側の慈善意識によって取引が成立する側面があります。一方、ゼンショーのフェアトレードの考え方は、単なる援助ではなく、生産者とゼンショーが互いに長期的な観点で成長・発展しながら取引を継続することを前提としています。生産者団体と直接取引を行うために現地へ定期的に赴き、農産物の生育状況を確認し、栽培、生産についての技術指導も行います。品質の向

上と安定的な生産は生産者に収入と技術をもたらし、経済的自立の一助となります。ゼンショーにとっても、長期的に取引を行うことで良質な原料を安定的に確保し、手頃な価格でお客様に提供することができます。フェアトレードは、長期的な互惠の発展を実現できる事業モデルなのです。

今後も、フェアトレードの品目や取り組み国の拡大を目指すとともに、生産者が得た資金がその国・地域の人々が本当に必要としていることに使用され自ら管理できるよう、現地の人財育成にも力を注いでいきます。

※社会開発資金：原料買取価格の中で現地の人々が必要とするさまざまな生活改善活動に充てられる金額のこと。

Shops & Products

選べる喜び、もっと多くのお客様へ

店舗数日本一、日本を代表する牛丼チェーンである「すき家」をはじめ、ハンバーグ、パスタ、焼肉、寿司など、バラエティ豊かなレストラン、そして、うどん、ラーメン、ハンバーガー、コーヒースhopなどのファストフード店まで、安全で豊かな「食」を提供するゼンショーグループのお店は国内外に広がっています。

すき家

日本を代表する牛丼チェーン

店舗数日本一、日本を代表する牛丼チェーン。それが「すき家」です。ファミリーやグループのお客様にも気軽にご利用いただけるようテーブル席を設置し、手頃な価格と手際の良いサービスで、24時間365日、できたての牛丼を提供しています。さらに多くの人においしさを届けるべく、今後も出店を続けていきます。



1,941 店舗
(2023 年 3 月末現在※以下同)

なか卯

和風ファストフードチェーン

井ぶりと京風うどんの「なか卯」は、おいしいメニューをお求めやすい価格でスピーディにご提供することで、ご来店されるすべてのお客様にご満足いただけるよう日々取り組んでいます。なか卯自慢の dashi、コクのある「こだわり卵」を使用し、一つひとつお店で手づくりする定番の親子丼は、専門店にも負けない一品です。関西風の dashi で仕上げた上品なうどんとぜひ一緒にお召し上がりください。



461 店舗 (うち直営 454 店舗)

ココス

ファミリーレストラン

アメリカ生まれの「ココス」は、関東・関西を中心に全国展開するレストラン。人気の「ビーフハンバーグステーキ」や「包み焼きハンバーグ」等の料理、種類が豊富な「プレミアムドリンクバー」などを明るい笑顔と心のこもったサービスとともに提供しています。小さなお子様からご年配の方まで、すべてのお客様に安心してご利用いただける、安全な料理の提供、店舗設備に心を配っています。



514 店舗 (うち直営 436 店舗)

エルトリート

メキシコ料理レストラン

本格的ながら日本人でも気軽に味わえるメキシコ料理を提供しています。「エルトリート」の自慢は、焼きたてのトルティーヤで包んで食べる「ファヒータ」と、一番人気のカクテル「フロズンマルガリータ」。太陽の国「メキシコ」の雰囲気たっぷりのお店で、いつもとは違う食体験をお楽しみください。



4 店舗

ビッグボーイ

ハンバーグ&ステーキレストラン

「ビッグボーイ」は、ハンバーグやステーキなどのグリルメニューを中心としたレストランです。「手ごねハンバーグ」はふっくらジューシーに仕上げるため、一つひとつ店内で手ごねしてから焼き上げる人気商品です。また、「大俵ハンバーグ」は粗挽き牛肉 100% を使用した、専用の卓上コンロで焼き上げていただくこだわりのハンバーグです。



155 店舗

ジョリーパスタ

パスタ専門店

ご注文いただいてから茹であげる本格的なスパゲッティは約 50 種類。豊富な種類を手頃な価格でお召し上がりいただけるパスタ専門店です。デュラムセモリナ粉 100% のオリジナル乾麺を使用し、茹であげ時間にもこだわった本場の味をお楽しみいただけます。ドリンクバーではフェアトレードのブレンドコーヒーを提供しています。ご家庭でパスタ専門店の味を気軽に楽しめるテイクアウトも好評です。



306 店舗

オリーブの丘

イタリア食堂

素材の魅力を生かしたイタリアのおいしい料理を、リーズナブルな価格で楽しめるレストランです。ご注文をいただいてから乾麺を茹で上げるパスタや、1 枚ずつお店で生地をのびしてからオープンで焼き上げるピッツァ、前菜、肉料理など、美食の国「イタリア」をイメージしたグルメを豊富に取り揃えています。デザートやワインなどもご用意しており、シーンに合わせてご利用いただけます。



51 店舗

華屋与兵衛

和食レストラン

本格的な江戸前寿司や、しゃぶしゃぶ、とんかつ、天ぷら、そばを中心に海鮮丼や釜めしなど四季折々の和食メニューや、宴会メニューを提供しています。テーブル席とお座敷席をご用意しており、おひとり様からご家族連れ、親族の集まりなどにもご利用いただけるコース料理まで、心を込めてお作りする逸品をお楽しみいただけます。



35 店舗

熟成焼肉いちばん

焼肉レストラン

牛肉本来の旨みと柔らかさを引き出した熟成肉と、ふっくらもちりおいしい土鍋ごはんが自慢の焼肉レストランです。価格は手頃ながら高級店にも負けない品質の高い商品をご用意しています。サラダ・ビビンバ・デザートなども充実しており、ご家族連れやグループなど、どなたでも気軽に焼肉を楽しめます。



77 店舗

宝島

焼肉レストラン

おいしい焼肉を手頃な価格で、ご家族からご友人同士まで気軽に楽しめるファミリー焼肉レストランです。メニューはバリエーション豊かな定食スタイルから、お得な食べ放題やアラカルトまで豊富にご用意。安全・安心はもちろん、安さ、ボリューム、おいしさも兼ね備え、幅広いお客様にご利用いただいています。



21 店舗

はま寿司

寿司チェーン

「濱のおいしさ、そのままに。」をスローガンに掲げ、厳しい安全基準をクリアした高品質の食材のみを使用し、日本国内はもちろん、海外でもおいしいお寿司を提供しています。ゼンショーのスケールメリットを生かした新鮮な食材の仕入れ、旬やトレンドを取り入れたフェアの開催、注文品がスピーディーに届くストレートレーンの導入など、おいしさと楽しさを追求し、世界一の寿司チェーンを目指します。



576 店舗

かつ庵

とんかつ専門店

「かつ庵」は、とんかつ・かつ丼を手軽な価格で提供しています。しっとり柔らかな熟成豚ロースや甘い脂が特長の黒豚ロース、サクッと食感の粗挽き生パン粉、6種類の野菜と果実を濃縮し独自ブレンドのスパイスを加えた特製ソースなど、こだわりぬいた食材が自慢です。丼や定食をはじめ、一品料理、お子様メニュー、季節メニューなど、バリエーション豊富なメニューをお楽しみいただけます。



52 店舗

伝丸

ラーメン専門店

「伝丸」は白味噌、赤味噌、濃厚味噌の3種から選べる味噌ラーメンが人気のラーメン専門店です。ブレンド味噌やもろみに鶏ガラ・豚骨ベースの白湯スープ、こだわりの特注麺をあわせ、味噌の深いコクや芳醇な甘みを堪能できるラーメンに仕上げています。また店内はボックス席を用意しており、小さなお子様連れのご家族やご友人同士でもゆっくりとお過ごしいただけます。



38 店舗

久兵衛屋

うどん・天ぷら・しゃぶしゃぶ

小麦粉を独自の配合でブレンドしてつくった自家製うどん、厳選した昆布と4種類の魚でじっくり取っただしが自慢のうどん専門店。"久兵衛屋でしか味わうことのできない安全・安心なメニューづくり"をコンセプトに、素材にこだわり抜いたうどんを提供。天ぷらも注文をいただいてから一つひとつ揚げています。



49 店舗

瀬戸うどん

讃岐うどん専門店

良質な小麦粉を使用した「こだわりのうどん」が人気の讃岐うどん店。打ちたて・茹でたてのうどんに、揚げたてサクサクの天ぷらや温泉玉子などの具材を好みに合わせてトッピングすることで、自分好みの讃岐うどんが楽しめます。値段も手頃で、食べたいときにすぐに食べられる手軽さが魅力です。



11 店舗

ロッテリア

ハンバーガーショップ

日本人の食生活に合わせた、ユニークで高い品質の商品をお届けするハンバーガーショップです。ジュシーな粗挽きパティと、とろ〜り2種のナチュラルチーズが本格的な「絶品チーズバーガー」や、1977年発売のロングセラーで、ぶりぶり、サクサク食感にこだわった「エビバーガー」が看板商品です。お客様の期待に応える商品づくり、店舗展開を次々に実現していきます。



308 店舗（うち直営219 店舗）

モリバコーヒー

フェアトレードコーヒーのカフェ

担当者が生産地まで足を運び、生産者と顔を合わせて仕入れたフェアトレードコーヒーを提供するのが「モリバコーヒー」です。安全性や品質を現地で直接確認し、生産者が大切に育てたコーヒーのおいしさをそのまま届けます。「フナの森」をモチーフにしたやすらぎの空間で、手づくりのモリバサンドと一緒にいれたてのコーヒーを提供しています。



13 店舗



ユナイテッドベジーズ

安全・安心の青果専門店

関東から山陽地区にかけて青果専門店と生花店を展開する「ユナイテッドベジーズ」。青果専門店は駅ビル、スーパーマーケット、ショッピングセンター、ディスカウントストアなどに。お客様が毎日召し上がる野菜や果物だからこそ安全・安心を大切に、価値ある商品をお値打ち価格で提供しています。

30店舗

マルヤ

地域のお客様の生活を支える



埼玉県・千葉県を中心に生鮮食品を取り扱うスーパーマーケットを、計14店舗展開しています。食品の安全性や品質の良さ、価格の安さを追求すると同時に、「地域社会に愛され、信頼される店づくり」をモットーに、気軽に立ち寄れるアットホームな雰囲気店舗づくりを心がけています。

14店舗

Fuji Mart

Avance



フレッシュコーポレーション

充実した品揃えで利便性を追求

1978年設立。群馬県を中心に食品スーパーマーケットを地域密着で堅実に拡大し、フジマート、アバンセ、マルシェ、計22店舗を展開しています。地域の特性やお客様一人ひとりのニーズに応じた品揃え・店舗展開と自社工場で企画・製造した高付加価値のお惣菜などを提供しています。

22店舗

トロナジャパン

ピザなどの食品販売

トロナジャパンはゼンショーグループの販売会社として、ピザやパスタなどの小麦製品を中心とした、素材にこだわった惣菜・冷凍などを販売しています。また、「すき家牛丼の具」などグループの工場で製造された商品も取り扱っています。



かがやき

第二の「幸せ」を楽しむ暮らしを

北海道を中心に、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホームを運営している会社です。人生の第四楽章を迎えた方々の、楽しく、安心して快適な暮らしをお手伝いさせていただいています。高齢者住宅のプロフェッショナルとしての自覚を持ち、安心・快適、親切・愛、敬意・尊厳を提供していくことを目指しています。



ジョイフーズ

「お手軽な毎日のお買い物」を実現する

埼玉県・千葉県・栃木県を中心に展開する食品スーパーマーケットです。「今日の食卓を幸せにする」をコンセプトに、生鮮品や食料品などを求めやすい価格で提供しています。バラエティに富んだ「品揃え」と、「旬」を感じていただける売り場を通じて、お客様に毎日のおいしい献立と豊かで健やかな食生活を提案してまいります。

24店舗

VERY FOODS owariya

こだわりのおいしさを追求



VERY FOODS尾張屋は千葉県で8店舗を展開しているスーパーマーケットです。お客様に喜ばれる商品を提供するため、今が一番の旬の物をいち早くお届けします。安全・安心、おいしい商品をお値打ち価格で販売することで地域のお客様に貢献してまいります。

8店舗

善祥園

最先端の畜産・酪農技術を磨く



善祥園は北海道・十勝にある直営牧場です。広さは650ヘクタール、約1,300頭の牛が飼育されています。同牧場はゼンショーグループにおけるパイロットファームとして最先端技術を取り入れながら、繁殖した牛の肥育、牧草の自社生産などに取り組んでいます。安全・安心でおいしい牛肉と乳製品をお客様にお届けするために、日々品質向上を目指しています。

サンビシ

伝統の調味料で食を支える

日本の伝統調味料である醤油は「人類が生み出した最高の調味料である」との考えのもと、醸造技術の探求を続ける醤油メーカー。伝統技術を用いて55年以上のロングセラー商品である「味サンビシ金ラベル」や、低塩の先鞭をつけた「うす塩しょうゆ金ラベル」など、安全・安心で価値ある商品をお客様のお手元にお届けします。



エンネルグ

お一人おひとりの尊厳を最大限に尊重

2004年8月に訪問看護と訪問リハビリテーションをスタートさせ、その後居宅介護支援事業、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅を開設し、運営しています。ご利用者様に寄り添い、介護度の改善やおいしい食事などを提供し、笑顔で楽しく長生きしていただくお手伝いをしています。



ロイヤルハウス石岡 シニアライフサポート

あなたの最高の笑顔をつくりたい



「明るく元気で、おいしい食事を楽しんでいただく」をモットーに、介護付き有料老人ホーム、デイサービスなどを運営しています。ご利用者様やご家族に寄り添う温かいコミュニケーション、季節に応じた外出行事・趣味活動などによる、楽しく充実した生活を提案しています。自分らしい生活の実現に向け、お手伝いをさせていただいています。

かがやき保育園

働きやすい職場づくり



かがやき保育園

グループの店舗や事業所で働く従業員が利用できる「かがやき保育園」は、2015年の「かがやき保育園つくば」の開園を皮切りに、現在6施設を運営しています。子育て中の従業員が安心して利用できるよう、格安な保育料を設定。企業主導型保育所として、3歳以上のお子様および非課税世帯は保育料無料。おいしい給食も自慢です。

ZENSHO TOPICS

ゼンショーグループの新たな取り組み



産学連携

「食と健康科学研究講座」 京都大学と共同開設

京都大学と共同研究講座「食と健康科学研究講座」を開設しました。京都大学のAI（人工知能）解析技術や最新の機器分析学、ゼンショーグループが持つ食資源・サプライチェーンを活用し、食事として満足感が得られ、健康機能を維持できるような食品素材の探索に取り組みます。そして、国内外のゼンショーグループ店舗で、よりおいしく満足感があり、無理なく健康機能を維持できるメニューの提案を目指します。



食を通じた社会貢献

トルコ・シリア地震被災地で 炊き出しに貢献

2023年2月6日、トルコ南東部を震源とするマグニチュード7を超える大地震が発生し、現地に甚大な被害を及ぼしました。この災害に際し、社員6名がトルコの被災地に直接赴き、テント生活を送る被災者たちのために食事の準備・配布に従事しました。ゼンショーグループは「食のインフラ」として使命を果たすべく、今後も平時にあって有事にあって、世界中の人々に温かい食事を提供できるよう努めてまいります。



地域社会との連携

コメ流通工程の理解を 深める田植え体験を実施

ゼンショーグループは、地域のコメ生産者や卸売業者と連携し、流通工程について相互理解を深めるための体験活動を行っています。今回はコメ生産者の活動・苦労の理解を目的に、宮崎県内の圃場で田植えを実施。今後も生産者や卸売事業者の方に、商品が店舗でどうお客様に提供されているか、ゼンショーグループの従業員にはどのような工程を経て店舗に届くのかについて理解につながる活動を行ってまいります。



一般財団法人
鰻の食文化と
鰻資源を守る会



一般財団法人
ゼンショーかがやき子ども財団

財団設立

「うなぎ財団」と 「子ども財団」を設立

文化や社会への貢献活動を実践するために二つの財団を設立しました。「(一財)鰻の食文化と鰻資源を守る会(通称うなぎ財団)」は日本の伝統的な食文化である「うなぎ」を未来に継承するため、資源保護と完全養殖技術の研究を進めています。「(一財)ゼンショーかがやき子ども財団」は、社会的養護下で暮らす子どもの進学・就学を支援するため、給付型奨学金事業と体験活動事業を行っています。



国内事業展開

ハンバーガーショップ 「ロッテリア」がグループ入り

ファストフードチェーンを展開する株式会社ロッテリアの株式を取得しました。株式会社ロッテリアは、日本全国でハンバーガーショップ「ロッテリア」などを約360店舗運営。日本人の食生活に合わせた、ユニークで高い品質の商品を提供しています。ゼンショーグループはこの株式取得を通じて、ハンバーガーを新たな事業の軸として位置づけ、お客様に安全でおいしい食を手軽な価格で提供してまいります。

ZENSHO

サステナビリティ

サステナビリティボンド を発行

ゼンショーグループは、企業理念「世界から飢餓と貧困を撲滅する」の実現に向け、環境保全や食品ロスの削減、生産者・地域の社会的発展の支援などの活動資金を確保するため、フレームワークの制定と資金調達を行いました。さらにグループのサステナビリティ戦略を統括・推進する部署も新設。今後もお客様や社会の課題に真摯に向き合い、フード業ならではの価値創出およびグループの持続的な成長を目指します。

沿革

1982.06	当社を設立し、神奈川県横浜市鶴見区に横浜工場併設の 本社を設置。	2013.05	事業拡大及び製造機能拡充のため、米国 Pocino Foods Company の株式を取得。
1982.07	ランチボックス(弁当店)1号店として、生麦店(神奈川県横 浜市鶴見区)を開店。	2013.10	(株)マルエイ(現・(株)ジョイマート)の株式を取得。
1982.11	すき家(牛井店)ビルイン1号店として、生麦駅前店(神奈 川県横浜市鶴見区)を開店。	2013.12	小売事業の一層の効率化を図るため、(株)日本リテールホー ルディングスを設立。
1986.08	本社を神奈川県横浜市神奈川区内の東神奈川町(当時)へ 移転。	2014.01	事業分野の拡大のため、(有)介護サービス輝(現・(株)輝)の 株式を取得。
1987.04	本社を神奈川県横浜市神奈川区内の鶴屋町へ移転。	2014.03	267億円公募増資。(株)マルヤ(現・(株)ジョイマート)を完全 子会社化して上場廃止。
1987.07	フリースタANDING1号店として、すき家水戸店(茨城県 水戸市)を開店。	2014.06	「すき家」を全国7分社化。地域運営会社である(株)北日本す き家、(株)関東すき家、(株)東京すき家、(株)中部すき家、(株) 関西すき家、(株)中四国すき家、(株)九州すき家を設立。
1989.01	本社を神奈川県横浜市区西へ移転。	2014.08	(株)尾張屋(現・(株)ジョイマート)の株式を取得。
1997.08	日本証券業協会に株式を店頭登録。	2014.10	(株)ゼンショーを(株)すき家本部へ社名変更。
1999.09	東京証券取引所市場第二部へ上場。48億円公募増資。	2015.02	生産部門の組織強化のため、(株)ゼンショーファクトリー ホールディングスを設立。
2000.07	(株)ココスジャパンの株式を取得。	2015.05	事業所内保育施設の運営を行うため、(株)かがやき保育園 を設立。
2000.10	設備・メンテナンス効率化のため、(株)テクノサポート(現・(株)テ クノ建設)を設立。	2015.07	焼肉事業の強化を図るため、(株)TAG-1を設立。カフェ事 業の強化を図るため、(株)善祥カフェを設立。
2000.11	食材調達効率化のため、(株)グローバルフーズ(現・(株)ゼン ショー商事)を設立。	2016.01	ZENSHO VIETNAM CO., LTD. を設立。
2001.05	(株)ぎゅあん(現・(株)TAG-1)の株式を取得。	2016.07	(株)かつ庵を設立。
2001.07	本社を東京都港区へ移転。	2016.08	ファストフード事業の一層の強化のため、(株)日本ダイニ ングホールディングス(現・(株)QSRホールディングス)を 設立。
2001.09	東京証券取引所市場第一部銘柄指定。	2016.11	介護事業を運営する(株)ロイヤルハウス石岡及びシニアラ イフサポート(株)の株式を取得。
2002.06	消耗品、備品調達の効率化のため、(株)グローバルテーブル サプライを設立。		中国事業の統括を行う、泉膳(中国)投資有限公司を設立。 (株)フジタコーポレーション(現・(株)ジョイマート)の株式を 取得。
2002.10	回転寿司事業の運営を行うため、(株)はま寿司を設立。	2017.04	(株)東京すき家よりすき家事業の一部を、(株)神奈川すき家 へ吸収分割により継承。
2002.12	(株)ココスジャパンが、(株)ビッグボーイジャパンの株式を取得。	2017.05	本格イタリア料理専門店の(株)オリーブの丘を設立。
2004.02	グループ会社の本部機能を集約し、本社を現在地(東京都 港区港南2-18-1)へ移転。	2017.06	介護事業の一層の強化のため、(株)日本介護ホールディン グスを設立。
2005.01	(株)ココスジャパン(当社の連結子会社)が可口食餐飲(上海) 有限公司(現・泉盛餐飲(上海)有限公司)を設立。	2017.07	(株)中部すき家よりすき家事業の一部を、(株)中京すき家へ 吸収分割により継承。
2005.03	(株)なか卯の株式を取得。		(有)エンネルグ(現・(株)エンネルグ)の株式を取得。
2005.09	食の安全への取り組み強化のため、食品安全追求室(現・ グループ食品安全保証本部)を新設。	2018.08	ZENSHO (PHILIPPINES), INC. を設立。
2006.04	当社の子会社である(株)ユーディーフーズ(現・(株)サンビシ) が、サンビシ(株)より事業を譲受。	2018.10	ZENSHO HONG KONG CO., LTD. を設立。
2006.06	141億円公募増資。事業拡大を図るため、(株)グローバルビ ザシステム(現・(株)トロナジャパン)を設立。	2018.11	Advanced Fresh Concepts Corp. の株式を取得。
2006.08	物流の効率化を目的として、(株)グローバルフレッシュサブ ライを設立。	2019.01	レストラン事業の一層強化のため、(株)日本レストランホー ルディングスを設立。
2007.02	事業分野の拡大のため、青果販売の(株)ユナイテッドベジーズ の株式を取得。	2019.05	TCRS Restaurants Sdn. Bhd. の株式を取得。
2007.03	(株)サンデーサン(現・(株)ジョリーパスタ)の株式を取得。 東ティモールにて、フェアトレードの取り組みを開始。	2019.08	(株)ジョリーパスタを株式交換により完全子会社化。
2007.07	すき家の沖縄県出店(880店舗目)による全47都道府県へ の出店達成。	2019.12	Zensho Europe Holdings B.V.を設立し、Worldfood To Go, S.L. (現・Worldfood To Go, S.L.U)の株式を取得。
2008.01	農畜産物の生産及び販売を目的として、(株)善祥園を設立。	2020.02	(株)ココスジャパンを株式交換により完全子会社化。
2008.08	ZENSHO DO BRASIL COMERCIO DE ALIMENTOS LTDA. を設立。	2020.03	すき家事業の経営のより一層の効率化を図るため、(株)す き家本部を存続会社とし、すき家地域会社9社を消滅会社 とする吸収合併を実施し、(株)すき家本部を(株)すき家に社 名変更。
2008.10	(株)華屋と兵衛の株式を取得。	2020.08	晴雲酒造(株)の株式を取得。
2010.03	(株)なか卯を株式交換により完全子会社化。	2021.06	国内外の調達強化を目的に、(株)グローバルMDホールディ ングスを設立。
2011.02	ZENSHO (THAILAND) CO., LTD. を設立。	2021.07	(株)グローバルMDホールディングスが(株)マリックスの株 式を取得。
2011.05	株式会社ゼンショー分割準備会社(現・(株)すき家)を設立。	2021.09	日本食専門店事業の一層の強化のため、(株)ゼンショーファ ストホールディングスを設立。
2011.10	事業のグローバル展開のため持株会社体制に移行し、社 名を「株式会社ゼンショーホールディングス」へ変更。 また、ZENSHO FOOD DE MEXICO S.A. DE C.V.を設立。	2021.10	(株)ゼンショーライスが(株)齋藤商店の株式を取得。
2011.12	製造機能拡充のため、(株)GFFを設立。	2022.03	(株)グローバルMDホールディングスが(株)五十嵐水産の株 式を取得。
2012.03	ZENSHO FOODS MALAYSIA SDN. BHD. を設立。	2022.04	東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部か らプライム市場へ移行。
2012.04	障がい者雇用の推進及び自立支援を目的として、(株)ゼン ショービジネスサービスを設立。		
2012.11	小売事業の拡大のため、(株)マルヤ(現・(株)ジョイマート) の株式を取得。		
2013.01	玄米・精米の販売を目的に、(株)ゼンショーライスを設立。		
2013.04	台湾善商股份有限公司、PT. ZENSHO INDONESIA を設立。		

※ 2023年3月末現在

グループ企業

株式会社 ゼンショーホールディングス 本社：東京都港区／設立：1982年6月 株式：東証プライム市場上場／資本金：269億96百万円 従業員数：社員 17,324名 パート・アルバイト 147,046名(連結・2023年3月末現在) TEL：03-6833-1600／https://www.zensho.co.jp		
国内外食事業	ZENSHO HONG KONG CO., LTD. 本社：Kowloon, Hong Kong ZENSHO JAPANESE RESTAURANT COMPANY PTE. LTD. 本社：Singapore Advanced Fresh Concepts Corp. 本社：Torrance, California TCRS Restaurants Sdn. Bhd. 本社：Petaling Jaya, Selangor ZENSHO (PHILIPPINES), INC. 本社：Pasig City, Metro Manila Worldfood To Go, S.L.U 本社：Móstoles, Madrid	株式会社 グローバルテーブルサプライ 本社：東京都港区 株式会社 グローバルフレッシュサプライ 本社：東京都港区 株式会社 グローバルITサービス 本社：東京都港区 株式会社 GFF 本社：東京都港区 株式会社 サンビシ 本社：愛知県豊川市 株式会社 トロナジャパン 本社：東京都港区 株式会社 TR ファクトリー 本社：東京都港区
小売事業	株式会社 ユナイテッドベジーズ 本社：東京都港区 株式会社 エイ・ダイニング 本社：東京都港区 株式会社 久兵衛屋 本社：東京都港区 株式会社 瀬戸うどん 本社：東京都港区 株式会社 善祥カフェ 本社：東京都港区 株式会社 かつ庵 本社：東京都港区 株式会社 オリーブの丘 本社：東京都港区	株式会社 善祥園 本社：北海道広尾郡大樹町 有限会社 水下ファーム 本社：北海道広尾郡大樹町 晴雲酒造 株式会社 本社：埼玉県比企郡 株式会社 マリックス 本社：鹿児島県出水郡 株式会社 五十嵐水産 本社：熊本県天草市 株式会社 ゼンショーベストクルー 本社：東京都港区 株式会社 ゼンショービジネスサービス 本社：東京都港区 Pocino Foods Company 本社：City of Industry, California 株式会社 日本アグリネットワーク 本社：東京都港区
海外外食事業	泉膳(中国)投資有限公司 本社：上海市長寧区 台湾善商股份有限公司 本社：台北市中山區 ZENSHO DO BRASIL COMERCIO DE ALIMENTOS LTDA. 本社：Liberdade, Sao Paulo ZENSHO (THAILAND) CO., LTD. 本社：Khet Wattana, Bangkok ZENSHO FOOD DE MEXICO S.A. DE C.V. 本社：Benito Juarez, Mexico City ZENSHO FOODS MALAYSIA SDN. BHD. 本社：Taman Midah, Kuala Lumpur PT. ZENSHO INDONESIA 本社：Bekasi, Jawa Barat ZENSHO VIETNAM CO., LTD. 本社：Binh Thanh District, Ho Chi Minh City Zensho USA Corporation 本社：Mission Viejo, California	サポートカンパニー 株式会社 テクノ建設 本社：東京都港区 株式会社 ゼンショー商事 本社：東京都港区 青島泉膳貿易発展有限公司 本社：山東省青島市市南区 Hatten Shoji Vietnam LLC. 本社：Binh Thanh District, Ho Chi Minh City Hatten Shoji Chile SpA 本社：Las Condes, Santiago Hatten Shoji Europe B.V. 本社：Van Heuven Goedhartlaan, Amstelveen Hatten Shoji Oceania Pty Ltd. 本社：Kent Street, Sydney, New South Wales 株式会社 北海発展商事 本社：東京都港区 株式会社 九州発展商事 本社：東京都港区 株式会社 沖縄発展商事 本社：沖縄県那覇市

※ 2023年3月末現在